WIND PRESS 56
2021 August

納入事例

静岡県三ヶ日町内20ヶ所に農業用気象観測装置を納入

町内1面に広がるみかん畑。静岡県浜松市北区三ヶ日町は浜名湖の北に位置する町で、「三ヶ日みかん」で知られている通り、全国でも有数のみかん生産地です。

その三ヶ日町の、三ヶ日町農業協同組合殿へ、2020年12月気象観測システムを納入させて頂きました。もともと三ヶ日町農業協同組合殿には気象観測装置を設置頂いておりましたが、今回納入したシステムは最新のIoT技術を活用したものとなります。

システムの概要は、三ヶ日町内の20ヶ所に気象観測装置を設置し、LTE携帯電話通信網を用いて三ヶ日町農業協同組合殿が指定する外部サーバへメール転送するもので、観測要素は風向風速、温度、湿度、雨量に加えて、日射、土壌水分、土壌温度も観測しており、農業を行う方々にお役立ちできるような構成となっております。

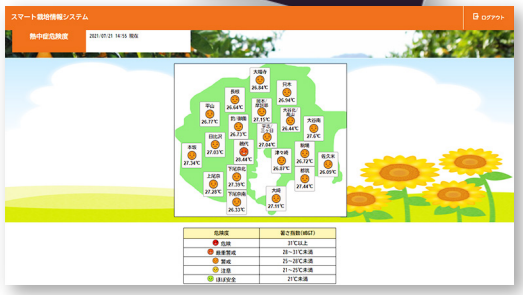
また本システムは、令和2年度　スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業の一つとして組み込まれており、外部サーバへ転送された気象データは、三ヶ日町農業協同組合会員向けウェブサイトにて設置地域ごとに集計・グラフ化されており、視覚的にわかりやすく情報を閲覧することができます。

また観測された気象データと過去の履歴をもとに、灌水時期や花の満開予測、病気・害虫の発生予察なども確認できるようなシステムとなっております。

三ヶ日みかんが市場に出回るのは1月ごろ。お正月には欠かせない三ヶ日みかん生産の一翼を、ANEOSの気象観測装置が担っております。

気象観測装置（大谷北・高山）

会員ページ例
（スマートフォン版）



会員ページ例（PC 版）